

## 為替ヘッジあり

第117期末(2022年5月17日)	
基準価額	5,506円
純資産総額	845百万円
第112期～第117期	
騰落率	△ 9.0%
分配金(税引前)合計	180円

## 為替ヘッジなし

第117期末(2022年5月17日)	
基準価額	6,893円
純資産総額	9,702百万円
第112期～第117期	
騰落率	2.1%
分配金(税引前)合計	180円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型)

(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/債券

作成対象期間：2021年11月18日～2022年5月17日

## 交付運用報告書

第112期(決算日2021年12月17日) 第115期(決算日2022年3月17日)

第113期(決算日2022年1月17日) 第116期(決算日2022年4月18日)

第114期(決算日2022年2月17日) 第117期(決算日2022年5月17日)

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、このたび、第117期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債(CB)等にも実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行いました。

「為替ヘッジあり」においては、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

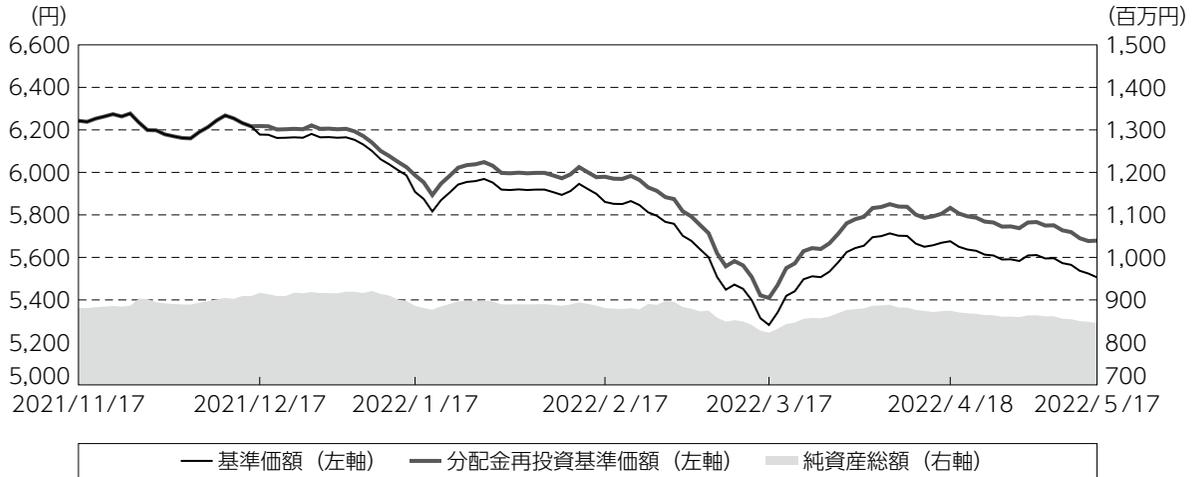
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2021年11月18日～2022年5月17日)

【為替ヘッジあり】



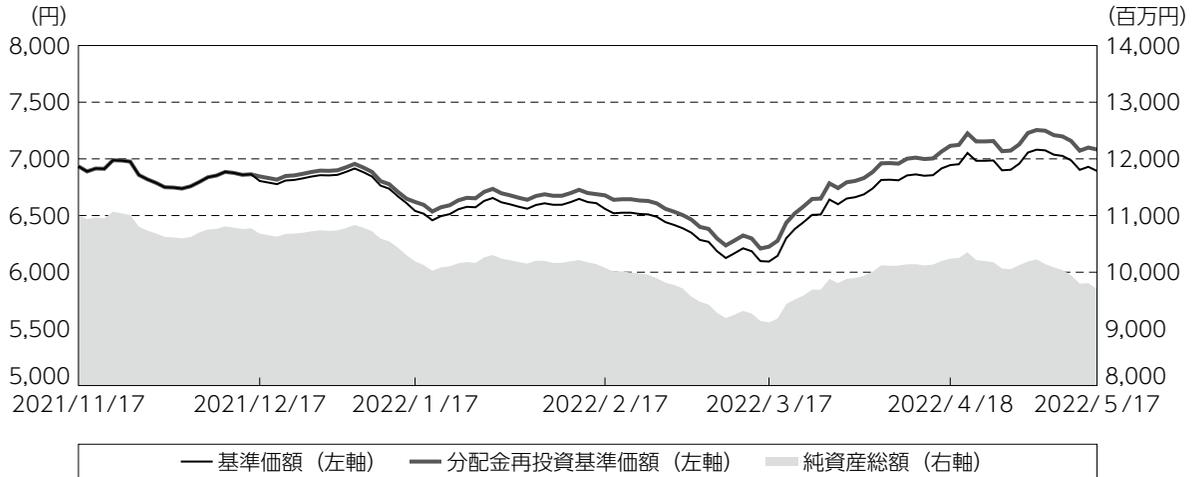
第112期首：6,243円

第117期末：5,506円 (既払分配金 (税引前) : 180円)

騰落率：△9.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2021年11月17日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【為替ヘッジなし】



第112期首：6,934円

第117期末：6,893円 (既払分配金 (税引前) : 180円)

騰落率： 2.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2021年11月17日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
  - ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」(マザーファンド)において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))
  - ・素材セクターが堅調に推移し、プラスに寄与しました。銘柄別では、PB ISSUER NO 5、CHINA HONGQIAO GROUP、VNET GROUPなどの組入れがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
  - ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」(マザーファンド)において、保有債券の利回りが上昇し、債券価格が下落したことがマイナス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))
  - ・金融、一般消費財・サービス、通信セクターが軟調に推移し、マイナスに影響しました。銘柄別では、ANTA SPORTS PRODUCT、ZHONGSHENG GROUP HOLDINGS、MEITUANなどの組入れがマイナス要因となりました。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)
  - ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」(マザーファンド)において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
  - ・為替市場で米ドルが対円で上昇したことがプラス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))
  - ・素材セクターが堅調に推移し、プラスに寄与しました。銘柄別では、PB ISSUER NO 5、CHINA HONGQIAO GROUP、VNET GROUPなどの組入れがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)
  - ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」(マザーファンド)において、保有債券の利回りが上昇し、債券価格が下落したことがマイナス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))
  - ・金融、一般消費財・サービス、通信セクターが軟調に推移し、マイナスに影響しました。銘柄別では、ANTA SPORTS PRODUCT、ZHONGSHENG GROUP HOLDINGS、MEITUANなどの組入れがマイナス要因となりました。

## 1 万口当たりの費用明細

(2021年11月18日～2022年5月17日)

【為替ヘッジあり】

項 目	第112期～第117期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 33 (13) (19) ( 1 )	% 0.562 (0.218) (0.327) (0.016)	(a)信託報酬=作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	0 ( 0 ) ( 0 )	0.007 (0.006) (0.000)	(b)その他費用=作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	33	0.569	
作成期間中の平均基準価額は、5,880円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

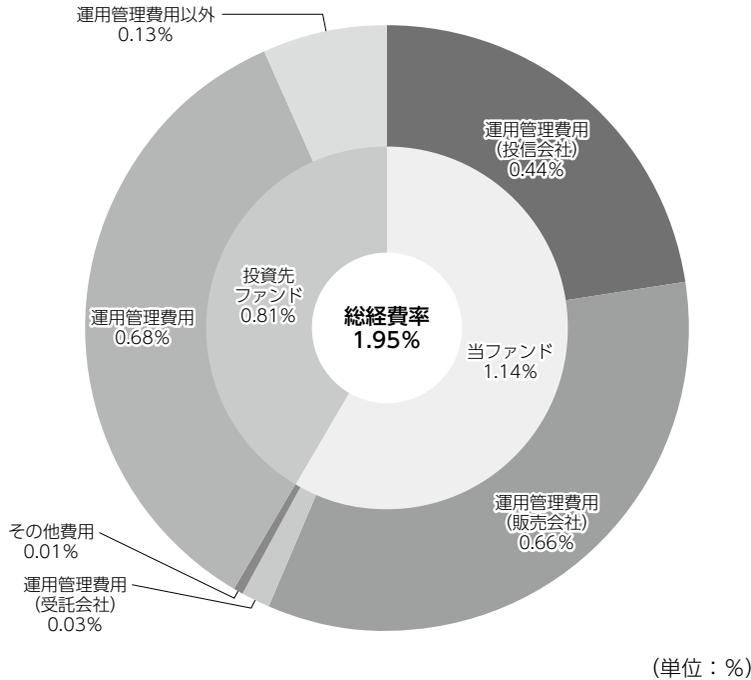
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



総経費率 (①+②+③)	1.95
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 【為替ヘッジなし】

項 目	第112期～第117期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
( 投 信 会 社 )	38	0.562	
( 販 売 会 社 )	(15)	(0.218)	
( 受 託 会 社 )	(22)	(0.327)	
(b) そ の 他 費 用	0	0.007	(b)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料等
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.007)	
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	
合 計	38	0.569	
作成期間中の平均基準価額は、6,732円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

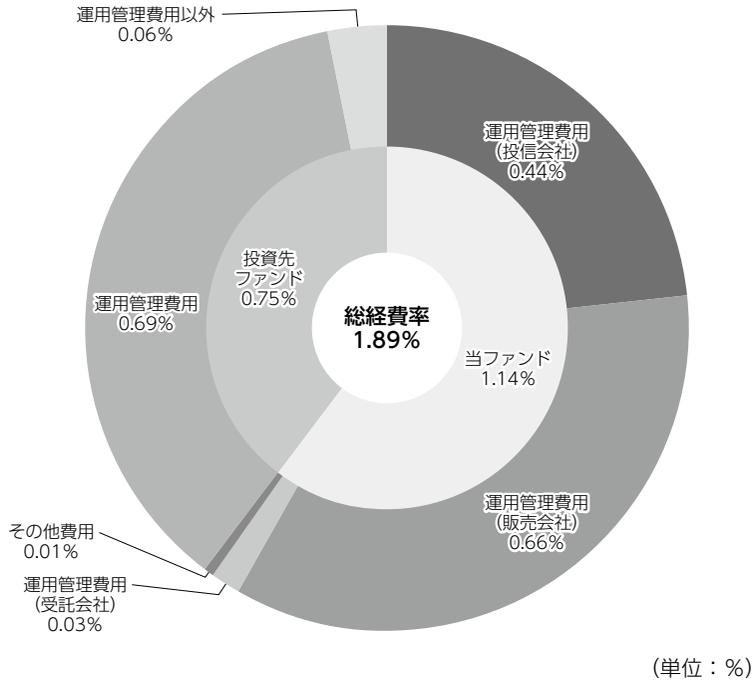
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万円当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



総経費率 (①+②+③)	1.89
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

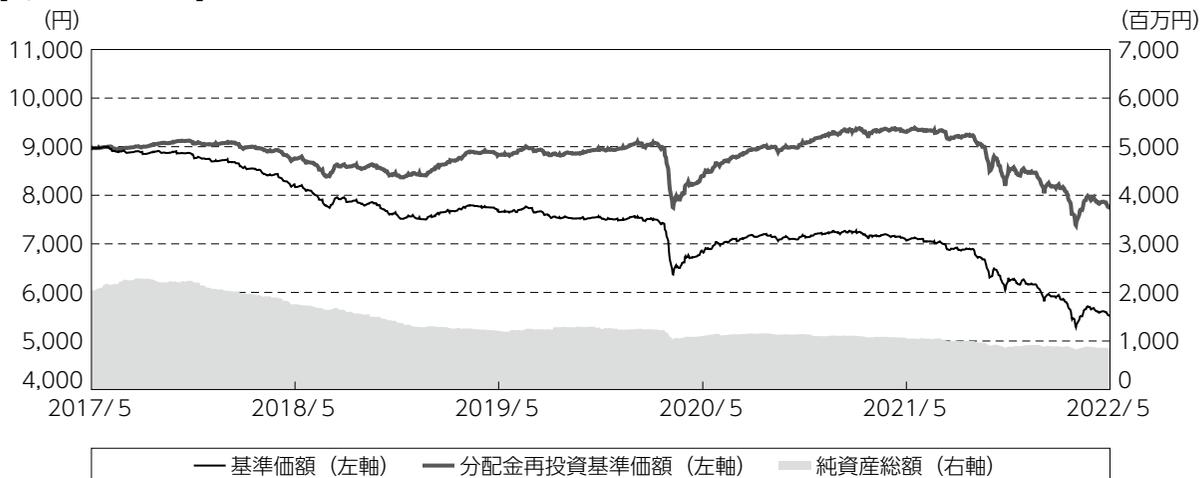
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2017年5月17日～2022年5月17日)

## 【為替ヘッジあり】



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2017年5月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年5月17日 期初	2018年5月17日 決算日	2019年5月17日 決算日	2020年5月18日 決算日	2021年5月17日 決算日	2022年5月17日 決算日
基準価額 (円)	8,982	8,168	7,657	6,818	7,067	5,506
期間分配金合計(税引前) (円)	—	600	570	480	480	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.6	0.9	△ 5.0	10.9	△ 16.7
J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate (%) Index(米ドル建て)騰落率	—	0.0	7.5	△ 0.6	13.8	△ 26.3
純資産総額 (百万円)	2,039	1,763	1,205	1,100	1,061	845

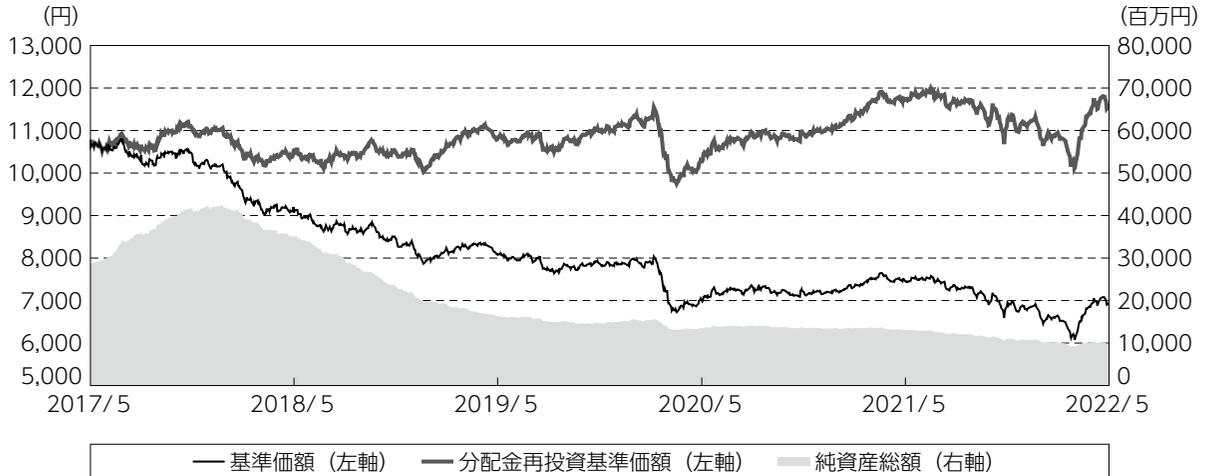
(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate Index (米ドル建て) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

## 【為替ヘッジなし】



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年5月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年5月17日 期初	2018年5月17日 決算日	2019年5月17日 決算日	2020年5月18日 決算日	2021年5月17日 決算日	2022年5月17日 決算日
基準価額 (円)	10,782	9,072	8,076	6,977	7,453	6,893
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,440	1,260	720	480	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.7	3.3	△ 5.1	14.1	△ 1.8
J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate (%) Index (円換算後) 騰落率	—	△ 2.0	7.1	△ 3.1	16.2	△ 13.0
純資産総額 (百万円)	28,955	34,881	16,254	13,454	13,057	9,702

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate Index (円換算後) は当ファンドの参考指数であり、当該日前営業日の現地終値に為替レート (対顧客電信売買相場の当日 (東京) の仲値) を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

**投資環境**

(2021年11月18日～2022年5月17日)

当作成期のアジア・ハイ・イールド債券市場は、下落しました。作成期初から2021年12月にかけては、中国において預金準備率の引き下げや積極的な財政政策が示された一方、米国での金融政策の正常化による経済成長の鈍化が懸念されたことなどを背景に、アジア・ハイ・イールド債券市場は軟調に推移しました。2022年1月から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大による中国の経済成長への懸念や、ウクライナ情勢への懸念、各国の中央銀行の金融引き締めへの積極的な姿勢などを背景に大きく下落しました。2022年3月下旬には中国の景気刺激策に対する期待感からわずかに上昇したものの、その後作成期末までは新型コロナウイルスの感染拡大による中国での都市封鎖（ロックダウン）などを背景に軟調に推移しました。

アジアCB市場は、下落しました。主要国の株式市場は、作成期初に新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が出現したことや、2022年に入ってからインフレ懸念と金融政策に対する警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まったことに加え、ロシアによるウクライナ侵攻への警戒感が強まったことから、作成期を通して下落する展開となりました。セクター別では、通信セクターや中国不動産セクターの下落が大きくなりました。

為替市場は、米ドルが対円で上昇しました。2022年3月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において参加者の2022年末の政策金利見通しが大幅に引き上げられたことなどを背景に米金利が上昇したことに加え、資源価格の高止まりに伴う日本の貿易収支の悪化が意識されて円を売る動きが加速したことから、ドル/円は上昇（ドル高/円安）しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2021年11月18日～2022年5月17日)

### <アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」および「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。なお、「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」については、実質組入外貨建資産に対し、当ファンドにて為替ヘッジを行いました。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高め維持しました。

#### ○シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券(転換優先株、他社株転換可能債券など)に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期におきましては、国別では中国、韓国、台湾、業種別では金融、一般消費財・サービス、通信を中心とした組み入れとしました。

### <アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」および「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高め維持しました。

#### ○シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

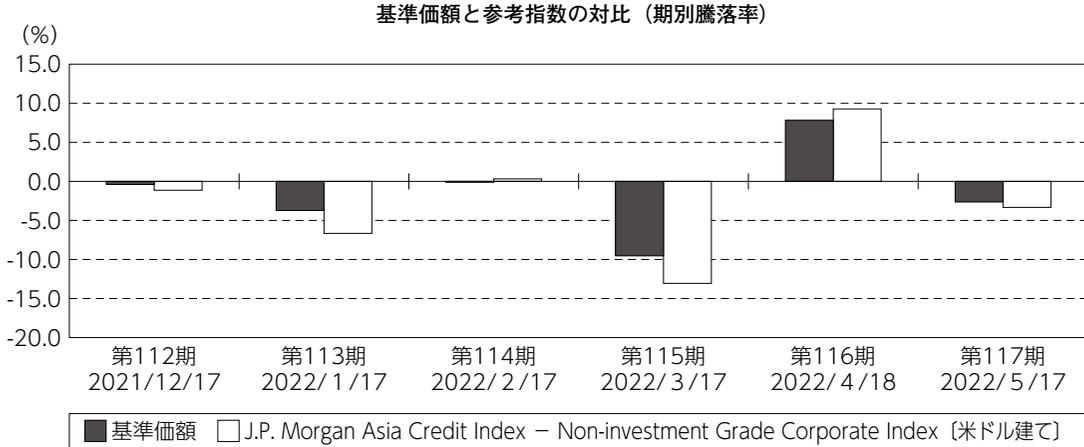
前述をご参照ください。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年11月18日～2022年5月17日)

【為替ヘッジあり】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

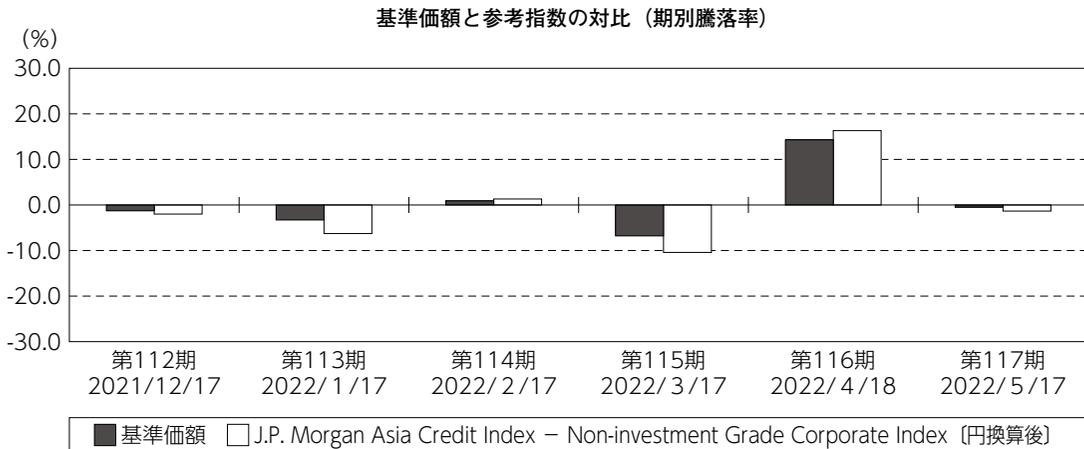


(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。

【為替ヘッジなし】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。

分配金

(2021年11月18日～2022年5月17日)

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、第112期から第114期の決算期にそれぞれ1万口当たり40円（税引前）、第115期から第117期の決算期にそれぞれ1万口当たり20円（税引前）、合計180円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	2021年11月18日～ 2021年12月17日	2021年12月18日～ 2022年1月17日	2022年1月18日～ 2022年2月17日	2022年2月18日～ 2022年3月17日	2022年3月18日～ 2022年4月18日	2022年4月19日～ 2022年5月17日
当期分配金	40	40	40	20	20	20
(対基準価額比率)	0.643%	0.672%	0.678%	0.377%	0.351%	0.362%
当期の収益	19	21	16	17	20	17
当期の収益以外	20	18	23	2	—	2
翌期繰越分配対象額	398	380	357	354	361	359

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、第112期から第114期の決算期にそれぞれ1万口当たり40円（税引前）、第115期から第117期の決算期にそれぞれ1万口当たり20円（税引前）、合計180円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	2021年11月18日～ 2021年12月17日	2021年12月18日～ 2022年1月17日	2022年1月18日～ 2022年2月17日	2022年2月18日～ 2022年3月17日	2022年3月18日～ 2022年4月18日	2022年4月19日～ 2022年5月17日
当期分配金	40	40	40	20	20	20
(対基準価額比率)	0.584%	0.608%	0.606%	0.327%	0.287%	0.289%
当期の収益	22	23	23	19	20	19
当期の収益以外	17	16	16	0	—	0
翌期繰越分配対象額	526	510	494	493	503	504

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」と「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。なお、「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」については、実質組入外貨建資産に対し、当ファンドにて為替ヘッジを行います。

### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

### ○シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券(転換優先株、他社株転換可能債券など)に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行います。なお、外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。

### <アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」と「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

### ○シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

前述をご参照ください。

## お知らせ

### 【為替ヘッジあり】 / 【為替ヘッジなし】

該当事項はございません。

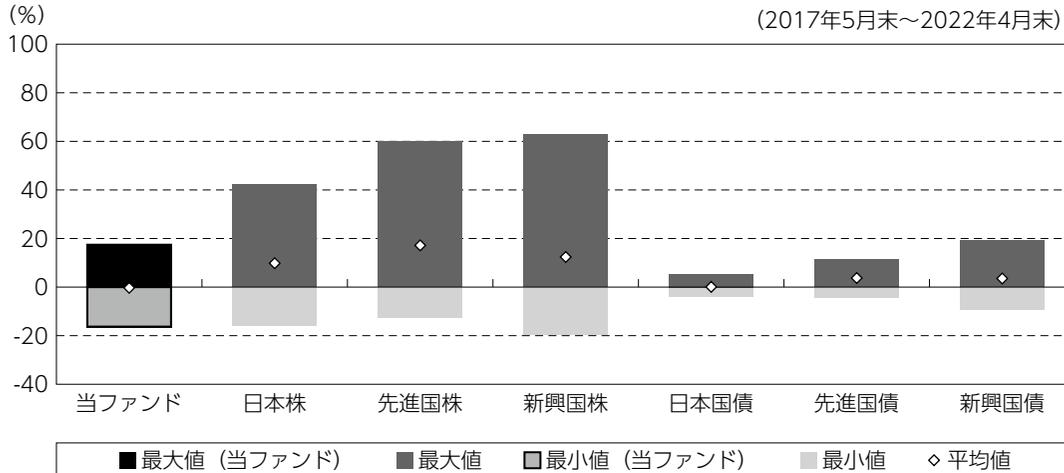
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	2012年8月27日から2027年5月17日までです。		
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債（CB）等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行います。		
主要投資対象	為替ヘッジあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）</li> <li>・シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））</li> </ul> ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。	
	為替ヘッジなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）</li> <li>・シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））</li> </ul> ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）／アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。	
	シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））	アジア（除く日本）企業が発行する転換社債またはその他証券（転換優先株、他社株転換可能債券など）を主要投資対象とします。	
運用方法	投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析、バリュエーション分析等を基に銘柄を選定します。また転換社債（CB）に関しては、前記に加え、株価との連動性等を勘案し銘柄を選定します。ポートフォリオの構築にあたっては、金利収入の獲得を重視し、債券価格の上昇による投資信託財産の成長を目指します。		
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。		

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

## 【為替ヘッジあり】



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	17.4	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 16.3	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 4.5	△ 9.4
平均値	△ 0.3	9.8	17.2	12.4	0.1	3.7	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年5月から2022年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

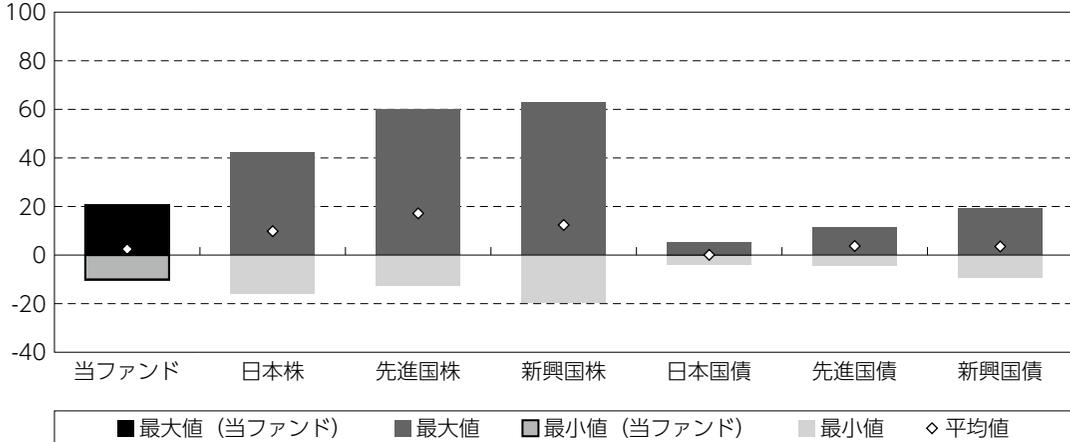
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

【為替ヘッジなし】

(%) (2017年5月末～2022年4月末)



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	20.5	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 10.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 4.5	△ 9.4
平均値	2.5	9.8	17.2	12.4	0.1	3.7	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年5月から2022年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ【為替ヘッジあり】

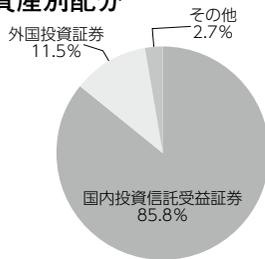
## 組入資産の内容

(2022年5月17日現在)

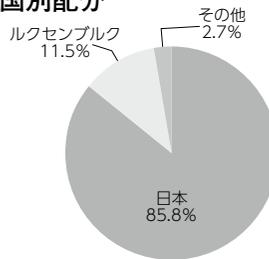
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第117期末
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	85.8%
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド-アジアCB (Cクラス (米ドル建て))	11.5%
組入銘柄数	2銘柄

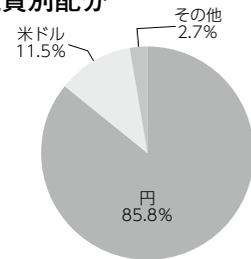
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末
	2021年12月17日	2022年1月17日	2022年2月17日	2022年3月17日	2022年4月18日	2022年5月17日
純資産総額	916,767,198円	885,921,373円	880,879,105円	822,820,886円	874,535,792円	845,739,949円
受益権総口数	1,483,990,408口	1,499,423,248口	1,503,006,157口	1,557,655,417口	1,540,694,513口	1,535,990,075口
1万口当たり基準価額	6,178円	5,908円	5,861円	5,282円	5,676円	5,506円

(注) 当作成期間(第112期~第117期)中における追加設定元本額は210,448,249円、同解約元本額は86,215,811円です。

## 当ファンドのデータ【為替ヘッジなし】

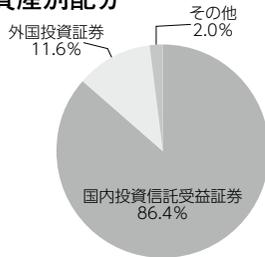
## 組入資産の内容

(2022年5月17日現在)

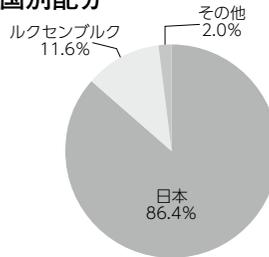
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第117期末
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	86.4%
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド-アジアCB (Cクラス (米ドル建て))	11.6%
組入銘柄数	2銘柄

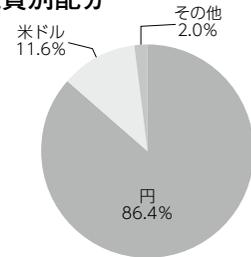
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

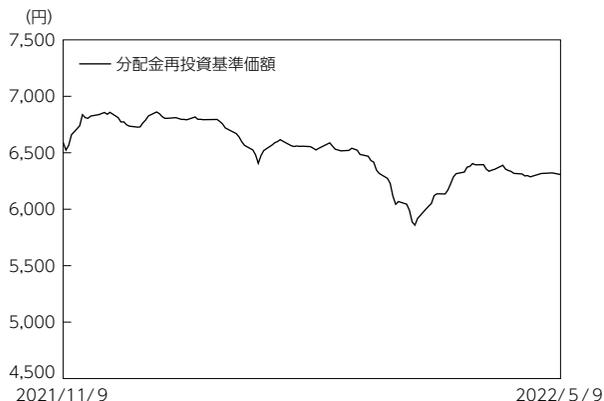
項目	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末
	2021年12月17日	2022年1月17日	2022年2月17日	2022年3月17日	2022年4月18日	2022年5月17日
純資産総額	10,681,636,314円	10,192,465,316円	10,076,601,892円	9,114,156,592円	10,240,915,359円	9,702,912,867円
受益権総口数	15,695,909,111口	15,581,932,708口	15,363,312,389口	14,955,251,074口	14,745,191,747口	14,076,939,959口
1万口当たり基準価額	6,805円	6,541円	6,559円	6,094円	6,945円	6,893円

(注) 当作成期間(第112期~第117期)中における追加設定元本額は543,627,623円、同解約元本額は2,340,125,527円です。

組入上位ファンドの概要

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2021年11月9日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月10日～2022年5月9日)

項 目	第120期	第125期
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	23	0.349
( ( 投 託 信 会 社 ) )	(21)	(0.327)
( ( 販 売 信 会 社 ) )	(0)	(0.005)
( ( 受 託 信 会 社 ) )	(1)	(0.016)
(b) そ の 他 費 用	4	0.059
( ( 保 管 費 用 ) )	(3)	(0.048)
( ( 監 査 費 用 ) )	(1)	(0.011)
( ( そ の 他 ) )	(0)	(0.000)
合 計	27	0.408

作成期間中の平均基準価額は、6,449円です。

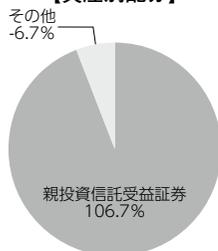
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。
- (注) 作成期間中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

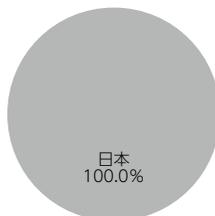
(2022年5月9日)

銘 柄 名	投資比率
GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)	106.7%
その他	-6.7%
組入銘柄数	1銘柄

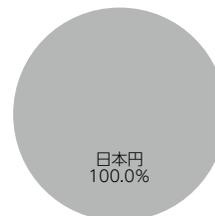
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

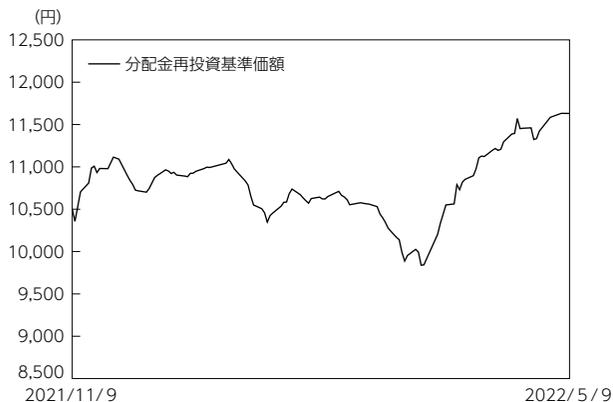


- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
- (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
- (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2021年11月9日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月10日～2022年5月9日)

項 目	第120期	第125期
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	38	0.349
( ( 投 託 信 会 社 ) )	(35)	(0.327)
( ( 販 売 会 社 ) )	( 1)	(0.005)
( ( 受 託 会 社 ) )	( 2)	(0.016)
(b) そ の 他 費 用	2	0.018
( ( 保 管 費 用 ) )	( 1)	(0.007)
( ( 監 査 費 用 ) )	( 1)	(0.011)
( ( そ の 他 ) )	( 0)	(0.000)
合 計	40	0.367

作成期間中の平均基準価額は、10,747円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 作成期間中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

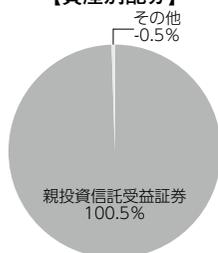
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

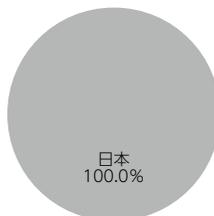
(2022年5月9日)

銘 柄 名	投資比率
GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)	100.5
その他	-0.5
組入銘柄数	1銘柄

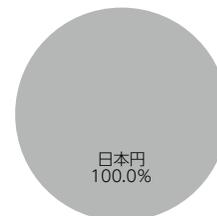
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

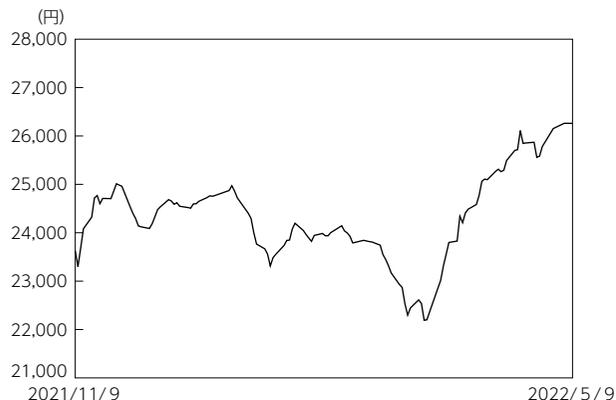
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

参考情報：G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用) の組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月10日～2022年5月9日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	2	0.007
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.007)
( そ の 他 )	(0)	(0.000)
合 計	2	0.007

期中の平均基準価額は、24,525円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

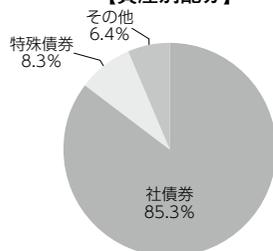
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

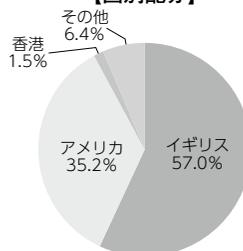
(2022年5月9日)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地域)	比 率
					%
1	RIZAL COMMERCIAL BK VAR	社債券	米ドル	イギリス	2.8
2	FWD GRP VAR EMTN	社債券	米ドル	イギリス	2.7
3	GOLDEN EAGLE 4.625% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	2.7
4	HBIS GRP HK 3.75%	特殊債券	米ドル	イギリス	2.6
5	BANK TABUNGAN 4.2%	社債券	米ドル	イギリス	2.5
6	MEDCO PLATINUM6.75% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	2.4
7	FWD VAR 49	社債券	米ドル	イギリス	2.4
8	CAS CAPITAL VAR	社債券	米ドル	イギリス	2.4
9	HOPSON DEVELOPMENT 7%	社債券	米ドル	アメリカ	2.4
10	PETRON VAR	社債券	米ドル	イギリス	2.4
	組入銘柄数		88銘柄		

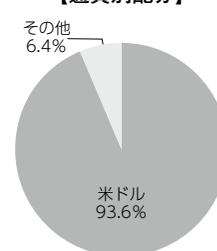
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国 (地域) および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

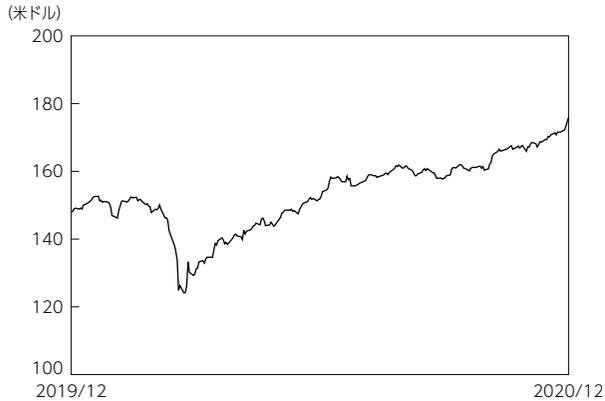
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 組入上位ファンドの概要

### シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス (米ドル建て))

※シュローダー・インベストメント・マネジメント (スイス) AGのデータを基に、岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当たりの費用明細】

(2020年1月1日~2020年12月31日)

当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、開示できません。

以下は、シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアC Bの状況です。

【組入上位10銘柄】

(2020年12月31日現在)

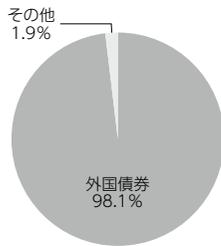
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ANLLIAN Capital Ltd., Reg. S 0% 05/02/2025	一般消費財・サービス	ユーロ	中国	6.1%
2	Smart Insight International Ltd., Reg. S 4.5% 05/12/2023	不動産	香港ドル	中国	5.5%
3	Sino Biopharmaceutical Ltd., Reg. S 0% 17/02/2025	ヘルスケア	ユーロ	香港	5.1%
4	LG Display Co. Ltd., Reg. S 1.5% 22/08/2024	情報技術	米ドル	韓国	4.3%
5	Zhongsheng Group Holdings Ltd., Reg. S 0% 21/05/2025	一般消費財・サービス	香港ドル	中国	4.3%
6	Lenovo Group Ltd., Reg. S 3.375% 24/01/2024	情報技術	米ドル	中国	4.1%
7	Singapore Airlines Ltd., Reg. S 1.625% 03/12/2025	資本財・サービス	シンガポールドル	シンガポール	3.1%
8	Best Path Global Ltd., Reg. S 0% 18/05/2021	資本財・サービス	香港ドル	中国	3.1%
9	Kakao Corp., Reg. S 0% 28/04/2023	コミュニケーション・サービス	米ドル	韓国	3.0%
10	WuXi AppTec Co. Ltd., Reg. S 0% 17/09/2024	ヘルスケア	米ドル	香港	3.0%
組入銘柄数			55銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

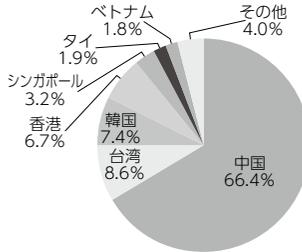
(注) 国(地域)につきましては、リスク国を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

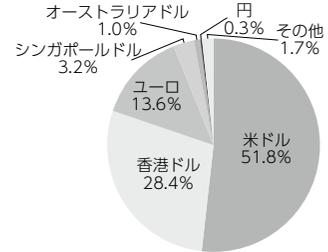
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、リスク国を表示しております。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。